

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	第6回 伊勢崎市総合計画審議会
開 催 日 時	令和6年8月7日(水) 午後1時30分～4時15分
開 催 場 所	本庁東館5階 第1会議室
出 席 者 氏 名	【委員】 長田委員、武淵委員、若菜委員、三浦委員、加藤委員、 尹委員、大下会長、中西副会長、羽鳥委員、大沢委員、 備前島委員、佐俣委員、市東委員、都丸委員、久保田委員、 赤尾委員、内田委員 【市出席者】 藤原副市長、下城副市長、三好教育長、小林病院事業管理者、 新井総務部長、星野企画部長、丸橋財政部長、細井市民部長、 深澤環境部長、中野健康推進部副部長、石橋福祉こども部長、 清水長寿社会部長、定形産業経済部長、田中農政部長、 大橋建設部長、山田都市計画部長、高木公営事業部長、 柳澤上下水道局長、矢内消防長、小此木経営企画部長、 大森会計管理者、櫻井議会事務局長、小林教育部長、 高尾民生専門委員 【事務局】 川端企画部副部長、倉上企画調整課長、阿左美課長補佐、 北爪主査、田村主査、中山主査 (総合計画等策定支援業務委託事業者) 有限責任監査法人トーマツ 松本氏、吉田氏、坂瀬氏
傍 聴 人 数	2名
会 議 の 議 題	【報告事項】 (1) 市民参画の結果について【資料11】 ・ 地区別市政懇談会【資料1】 ・ まちづくり市民ワークショップ【資料2-1、2-2】 ・ 中学生Miraiワークショップ【資料3-1、3-2】 (2) 第3次伊勢崎市総合計画策定の進捗状況に係る議員説明会の結果について【資料4】 【議事】 (1) 序論骨子(案)について【資料5】 (2) 前期アクションプラン(素案)について【資料6】 - ア 地区別計画(素案)【資料7-1、7-2】 - イ 重点プロジェクト(草案)【資料8】 - ウ 重点施策(素案)【資料9】 (3) 人口ビジョン骨子(案)について【資料10】

会 議 資 料 の 内 容	資料1 地区別市政懇談会報告書 資料2-1 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ報告書（概要版） 資料2-2 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ報告書 資料3-1 中学生Miraiワークショップ報告書（概要版） 資料3-2 中学生Miraiワークショップ報告書 資料4 議員説明会会議録 資料5 序論骨子（案）について 資料6 前期アクションプラン（素案）について 資料7-1 地区別計画（素案） 資料7-2 地区別計画（素案）＜地区の特性等から導く地域づくりの方向性・振興策＞ 資料8 前期アクションプラン（素案）について イ重点プロジェクト（草案） 資料9 前期アクションプラン（素案）について ウ重点施策（素案） 資料10 人口ビジョン骨子（案）について 資料11 第6回総合計画審議会における報告事項に係る事前質問票のとりまとめ結果報告書
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1. 開会 2. 報告事項 （1）市民参画の結果について【資料11】 ・ 地区別市政懇談会【資料1】 ・ まちづくり市民ワークショップ【資料2-1、2-2】 ・ 中学生Miraiワークショップ【資料3-1、3-2】 （2）第3次伊勢崎市総合計画策定の進捗状況に係る議員説明会の結果について【資料4】 （事務局より一括して説明） 【質疑応答】 （なし） 3. 議事 （1）序論骨子（案）について【資料5】 （2）前期アクションプラン（素案）について【資料6】 ア 地区別計画（素案）【資料7-1、7-2】 （事務局より一括して説明） 【質疑応答】 （なし） イ 重点プロジェクト（草案）【資料8】 （事務局より説明） 【質疑応答】 ＜委員＞ 資料8の18ページの主な取組に「防犯灯や防犯カメラ内蔵防犯灯の適正配置」とあるが、防犯灯の設置場所については、例えば、伊勢崎市内で事件が起き、犯人が逃げ回っているときに、犯人を追跡できるようにすることを目指そうとしているのか。

	<総務部長> 設置にあたっては地区からの要望や、発生が予測される場所を警察と協議のうえ設置させていただく。映像を市で確認して犯人を追うということはない。警察から捜査に係る照会があれば協力することを想定している。 <委員> 警察署が設置場所を指定するということか。 <総務部長> 地区からの要望等も踏まえて設置する。 <委員> 資料8の9ページの「少子高齢化対策プロジェクト」について、「プロジェクトのねらい」に記載の「出生から」という記載は変更しないのか。出会い・結婚に関する支援は記載しないのか。 <福祉こども部長> 人が生まれてから青年期への支援を想定した記載としている。出会い・結婚に関する支援は青年期の支援に含まれるものと考えている。 ウ 重点施策（素案）【資料9】 （事務局より説明） 【子育て・教育政策に関する質疑応答】 <委員> 資料9の13ページの「安全教育」について、小学校では充実しているが、中学校・高校では不十分であると考え。通学路が変わることや、通学方法が徒歩から自転車に変わること、自転車で走行するという点では道路整備が不十分である等の事情を踏まえた安全教育の充実・周知、安全上の配慮が必要であると考え。その旨を追記いただけないか。 <会長> 13ページの記載内容はソフト面がメインであるので、委員のご指摘は「まちづくり政策」に関連しての記載が必要かと考える。 <教育部長> ソフト面の取組については、「方針3：安全教育の充実」の中で適宜対応していく。 <委員> 安全教育というソフトの範疇で対応できるものではないと考えている。ハード面の整備も必要であり、その視点が欠落しているように感じる。その視点も持って記載いただきたい。 <会長> 東京都足立区では車道でも歩道でもない自転車道の整備をすすめる政策を進めている。事務局にはまちづくり政策に関連して追記する方向で検討いただきたい。 <委員> 加えて、横断歩道で自動車が停車せず、道を譲らないという問題もあるので、条例制定等、その点の普及啓発も効果的だと
--	--

考えている。

<委員>

資料9の14ページの「学校保健充実事業」に関連して、子どもの学用品の重量を問題視している。18.5kgの学用品を背負って自転車で片道4kmの通学をしている。児童生徒の健康管理・安全確保上好ましいとは思えないので、学用品の重量を減らす等の成果指標を設定いただきたい。

<会長>

提案という形で、事務局にて検討いただく。

【健康・福祉政策に関する質疑応答】

<委員>

資料9の24ページの「成果指標」について、現在の数値と目標値が同一であることが気になっている。方針1の指標名「休日夜間急患センターの開設日数」は現状維持が目標となることわかるが、方針2の指標名「災害医療活動訓練の実施」は向上させるべきではないか。施策の展開方針や方針に基づく事業でチャレンジングな内容もあるので、よりよい目標設定ができないか。

<会長>

事務局において検討いただきたい。

<委員>

資料9の23ページに関連して休日当番医はいつも混んでいる印象がある。さらなる充実はできないか。

<健康推進部副部長>

市としては、当番医制ではなく方針1に基づく事業「病院・休日夜間診療事業」として伊勢崎佐波医師会病院で急患受入体制の充実を図っていく。

<病院事業管理者>

資料9の24ページの方針1に基づく事業に病院の「輪番制」についての記載があるが、輪番制は救急車を1日に何台も受け入れられる病院が複数ないと実施できないものと考えており、この表現は適切でないように感じる。

<会長>

事務局内で調整を図っていただきたい。担当する部局はどちらになるのか。

<藤原副市長>

関係部署が複数あるので調整させていただきたい。

【産業・観光・文化政策に関する質疑応答】

<委員>

資料9の43ページの「伝統文化の継承」に関して、継承者不足を感じている。各地区の祭りに参加してはいるが、キャラクターを作ったりグッズを売ったり、後継者を確保するための工夫や仕組みを作っていく必要があると考える。そういった考えはないのか。

<教育部長>

後継者を育てたり、ビデオ等の媒体で残したりという取組は

	行っている。ご提案いただいた内容については検討させていただきたい。 <委員> 資料9の41ページに記載の入込観光客数について、どのイベント・施設にどれだけ観光客が来たのかという内訳を示していただくことは可能か。 <産業経済部長> 群馬県の観光入込客数調査によって把握しているので、お示しさせていただくことは可能である。 <委員> 資料9の44ページの「伝統文化の継承」について、コミュニティスクールの導入より学校と地域が連携すると、地域の伝統芸能を部活動として取り組むことが可能となると考える。こうした学校と地域の連携強化・複合的取組により先生の負担を軽減するとともに、地域の伝統芸能を継承することも可能になると考える。 <会長> 事務局での検討の参考にしていただきたい。 【まちづくり政策に関する質疑応答】 <会長> 先ほど子育て・教育政策において委員から指摘があった通学路の安全確保については、資料9の49ページの施策の展開方針2を「地域住民の利便性・安全性を向上させる道路整備」に修正いただく等、事務局にはご検討いただきたい。 <委員> 資料9の52ページの成果指標「運転免許証自主返納者数」に関して、運転免許の返納について年齢別の数や割合など想定はあるか。 <都市計画部長> 個人によって状況が異なると思うので、年齢基準を設定することは適当でないと考えている。免許を返納しても安心して外出できる環境を整えたい。 【安心安全政策に関する質疑応答】 (なし) 【環境政策に関する質疑応答】 <委員> 資料9の68ページの成果指標「リサイクル率」について、目標値を達成しても全国平均よりも低い状況は変わらないので、目標として不適切であると考えている。 <会長> 最終的にはさらなるリサイクル率の向上を目指す必要があるが、現状やこれまでの傾向を念頭に設定することや、他の計画の目標と整合を取る必要があることから、こうした目標値になっているものと理解する。一方で、委員の指摘を踏まえて、市には一層のリサイクルの促進に取り組んでほしい。
--	--

	【共生・共創・行財政政策に関する質疑応答】 <委員> 本市に外国人が多いことを踏まえて、多文化共生を掲げたことは評価できる。教育にも取り込めたらと考えるので、例えば重点施策1-2において学校教育の充実と関連付けて多文化共生に取り組むことなどが必要だと考える。 <会長> 事務局での検討の参考にしていきたい。 <委員> 動物との共生は含まれないのか。野良猫の問題など、触れてもよいのではないか。 <会長> 含まれていないと認識している。この場での回答は難しいと思うので、事務局にて確認・検討いただきたい。 (3) 人口ビジョン骨子（案）について【資料10】 (事務局より説明) 【質疑応答】 (なし) 4. その他 【連絡事項】 次回、第7回の審議会は、10月4日、金曜日の午後1時30分から開催予定である。詳細は、改めて通知をさせていただく。 5. 閉会
--	--